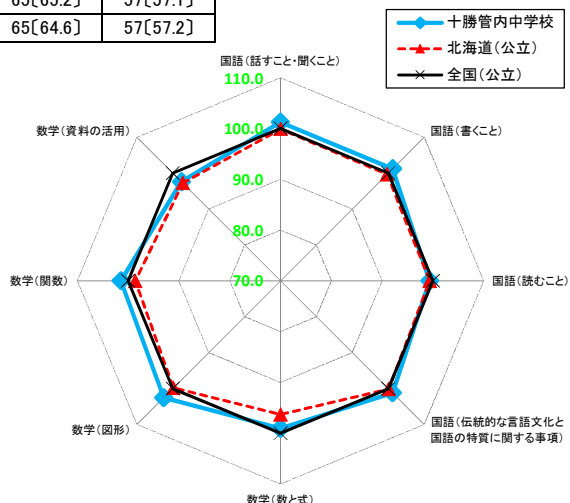
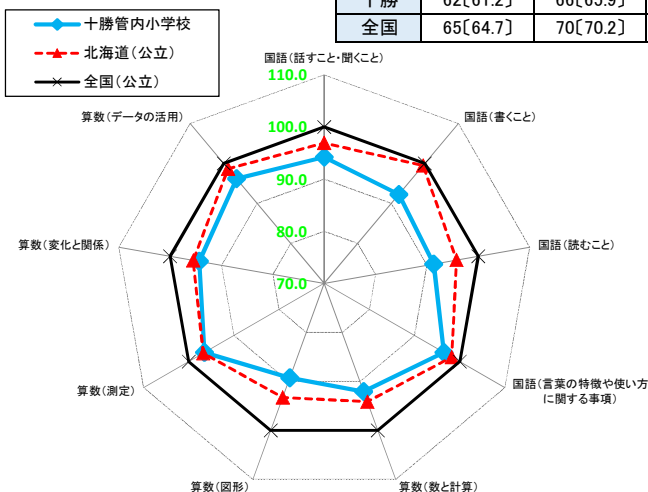


(小学校数:86校、児童数:2599人)(中学校数:46校、生徒数:2515人)

小学校 【教科全体の状況】

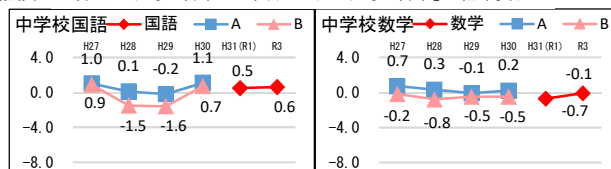
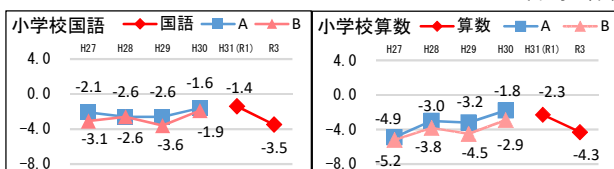
平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
十勝	62〔61.2〕	66〔65.9〕	65〔65.2〕	57〔57.1〕
全国	65〔64.7〕	70〔70.2〕	65〔64.6〕	57〔57.2〕

中学校



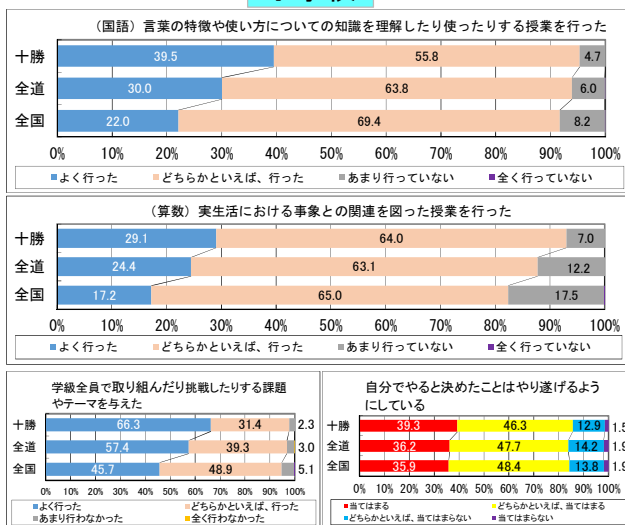
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

「平均正答率の推移」 「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

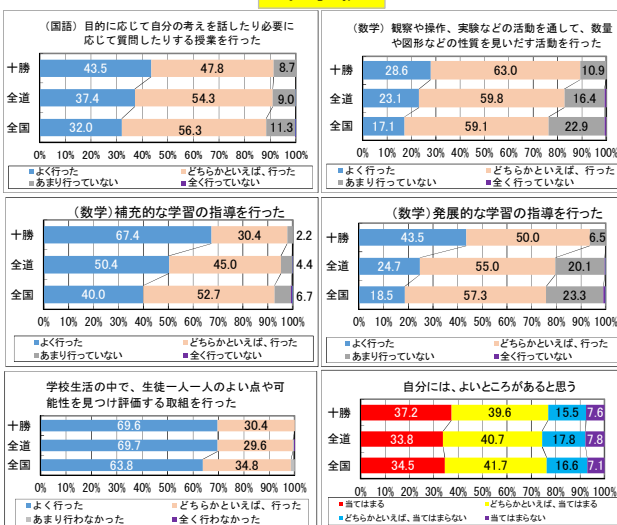


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの小学校において、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする国語の授業を行ったことにより、言葉の特徴や使い方に関する事項で全国及び全道の平均正答率を上回る設問があったと考えられる。

管内の多くの小学校において、実生活における事象との関連を図った算数の授業を行ったことにより、図形及び測定の領域で全国及び全道の平均正答率を上回る設問があったと考えられる。

管内の多くの小学校において、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える授業を行ったことにより、自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていると回答した児童の割合が全国及び全道の割合を上回ったと考えられる。

中学校

管内の多くの中学校において、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする国語の授業や補足的・発展的な国語の学習の指導を行ったことにより、2領域1事項で全国及び全道の正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を位置付けた数学の授業や補足的・発展的な数学の学習の指導を行ったことにより、3領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、学校生活の中で生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組を行ったことにより、自分にはよいところがあると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【十勝管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

十勝管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1)検証改善サイクルの確立

- 各種調査結果の分析や改善の取組が一部の教員や教科に限定される状況が見られることから、検証改善サイクルの確立を図り、組織的な取組を推進する必要がある。
- 組織力向上に関するアンケートを年2回実施し、取組の成果及び課題の改善状況をマネジメントする。
- 組織力強化会議や教育委員会訪問において、学校や市町村教委の取組を客観的に検証する機会を設ける。

(2)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- 身に付けさせたい資質・能力が不明確で、教師主導の授業が見られることから、身に付けさせたい資質・能力を明確にし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する必要がある。
- 学校教育指導訪問において、課題のある学校に対して、継続的な支援を行う。
- オンライン研修等において、定着が図られていない児童生徒に対する指導方法の工夫等について指導する。

(3)学校間や家庭及び地域との連携の推進

- 目指す子どもの姿を学校間、家庭や地域と共有していない状況が見られることから、9年間を見通した学校間、家庭及び地域との連携を推進する必要がある。
- コミュニティ・スクール等を活用した学校改善に向けて社会教育主事による学校訪問を計画的に行う。
- 小中一貫教育、小学校高学年教科担任制に関する好事例を発信する。

2. 具体的な取組

月	(1)検証改善サイクルの確立	(2)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	(3)学校間や家庭及び地域との連携の推進
10		・教育支援課便りによる好事例の発信（～2月） ・授業改善等に関する局独自オンライン研修の実施（全ての小・中学校の学力向上担当者） ・指導主事の要請訪問・出前講座（～2月） ・指定事業の指定校への訪問（～2月） ・継続的な支援が必要な学校に対する指導主事の計画訪問（～2月）	・小中一貫教育、小学校高学年教科担任制の好事例の普及 ・社会教育主事による学校訪問及び出前講座の実施（～2月） ・未来創造授業の実施（～2月）
11	・組織力強化会議（2回目） （全ての小・中学校のミドルリーダー）	・各市町村教育研究大会における指導助言（9～11月） ・ICTの活用に係る局独自オンライン研修の実施	
12	・組織力向上等に関する最終評価（全ての小・中学校による自己評価） ・十勝管内教育推進の重点に係る取組の評価	・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえたオンライン研修（校内研究の推進）の実施	・家庭での学習習慣及び生活習慣の定着に向けた好事例の普及
1	・学校とのWeb面談	・局独自事業ICT活用実践校における好事例の発信 ・市町村の要望に応じた授業改善研修	
2	・市町村教育委員会訪問（2回目）	・授業改善等に関する局独自オンライン研修の実施（全ての小・中学校の学力向上担当者）	・小中一貫教育サポート事業の成果の普及
3			・春休みの課題の発信

3. 取組の評価

(1)検証改善サイクルの確立

- ①「各種調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成、実施、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」学校の割合
- ・現状 小…49.4% 中…61.7%（※R1）
 - ・目標 小…100% 中…100%
 - ・達成値 小…50.0% 中…43.5%
- ②「全国学力・学習状況調査の結果を全教職員で共有した」学校の割合
- ・現状 小…90.8% 中…95.8%
 - ・目標 小…100% 中…100%
 - ・達成値 小…86.0% 中…79.2%

(2)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- ①「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」児童生徒の割合
- ・現状 小…23.3% 中…28.0%
 - ・目標 小…100% 中…100%
 - ・達成値 小…30.6% 中…39.8%
- ②「国語、算数・数学の授業の内容はよく分かる」児童生徒の割合
- ・現状 小国…37.0% 小算…40.0%
中国…28.3% 中数…34.6%
 - ・目標 小中国…算数…100%
 - ・達成値 小国…40.0% 小算…48.0%
中国…39.2% 中数…36.6%

(3)学校間や家庭及び地域との連携の推進

- ①「育成を目指す資質・能力を地域及び家庭と共有した」学校の割合
- ・現状 小…95.4% 中…91.7%
 - ・目標 小…100% 中…100%
 - ・達成値 小…87.2% 中…91.7%
- ②「家で自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合
- ・現状 小…30.4% 中…24.2%
 - ・目標 小…100% 中…100%
 - ・達成値 小…34.6% 中…28.3%

4. 改善点

(1)検証改善サイクルの確立

- ・組織力強化会議の内容の工夫改善
- ・組織力向上等に関する最終評価の結果を踏まえた改善策の共有

(2)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- ・研修機会の充実
- ・児童生徒の学力の定着状況を踏まえた授業改善の方策の共有

(3)学校間や家庭及び地域との連携の推進

- ・9年間を見通した教育課程の編成に向けた情報発信
- ・社会教育主事による学校訪問の充実